

公開製作、オープンディ・ワークショップのご案内

Building lapstrake lake boat

公開製作

日時： 2006年5月から7月まで毎週末（各月第一週を除く）

内容： ラブストレーキ・ボートの製作を見学する事が出来ます

オープンスタジオ

日時： 毎週日曜日、1時から3時まで、（各月第一日曜日を除く）

内容： その週の作業について簡単な説明、レクチャーを行います

ウドゥンボートセンターでは5月から7月まで、水鳥観察センターで使用するボートを公開製作します。また毎月3回、日曜日に希望者を対象としたオープンスタジオを行います。

製作するモデルはヘンリー・ラシュトンの「プレジャー・ボートー109」です。

ラシュトンは19世紀末から20世紀初めにかけて、ニューヨーク州の工房で美しいカヌーや小型のボートを製作しました。これは中でも一番知られた定番のシリーズで、1903年から1915年頃ラシュトンのカタログに掲載されており、プリント（手漕ぎ）ボートをベースにセイリングモデルも作られていました。ラッシュトン・ラインの美しさのなかに、安定性とすばらしい性能が見事にバランスされています。

カタログには12から16フィートまでのモデルがあり、102, 103というように品番がつけられていました。今回の製作はミスティーカー博物館収蔵の設計図を基に、グルード・ラブストレーキ(GL) 技法*で行います。

オープンスタジオの日には毎週ごとにその週の作業をまとめて解説します。オリジナルの設計図からのロフティング（実体図面を作り型紙を起こす）、システムのスチームベンディング、プランク（外板）張り等々、各作業ごとに詳しい説明がなされます。全行程参加すればボートの作り方について、かなりの実践的な知識が身に着くでしょう。

小型ボートの製作についての様々な話題、カーベル等の他の製作技法や、古典的ラブストレーキ手法との違いについても要所で触れる予定です。

ラブストレーキ（lapstrake）とは木の側板(strake)を重ねる（lap）ことから名付けられています。同じ技法を英国ではクリンカーと呼んでいます。これは銅の釘を使ってクレンチングという技法でボートの側板を張り合わせるところから来ています。船体の流線に沿って木を曲げてつくる事になるので、とても美しいラインが得られます。

グルード・ラブストレーキではラップの部分を接着剤で留めて作ります。ラブストレーキの現代版で、伝統的な美学を受け継ぎながら、軽く、丈夫で、メンテナンスフリーなボートを作る事が出来ます。

*）この手法は日本には「GL工法」として紹介されてきました。様々なバリエーションがあります。詳しくはこちらのサイト <http://www.gl-labo.com/> をぜひ御覧になって下さい。



5/14

ロフティング

昔からの方々で、オフセットテーブル（各部採寸表）から実寸原図を描きます。木型を作る元となる各部の形を決め込みます



21

木型を作る

原図を基に各ステーションごとの木型を製作します。船台の上に木型をセットして、ボートを作る製作型を完成します。



6/11

ステムを曲げる／キールを切る

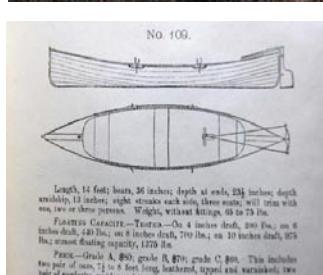
蒸気で蒸して1インチ以上のオーク材を曲げてステムを作ります。実寸原図を基にキールの形を整え、プランク（船体外板材）の入る溝をおおまかに切り込みます



18

ライニングアップ、

製作原型上で外板の分割を決めます。キール・ステムを製作型上に取り付け、外板の入る溝をきれいに揃えます。



25

プランキング1

ガーボード（一番下部にくる外板）から始めて船体外板を取り付けます。スパイリング（製作型上の外板の型取り方法）、ゲイン（両ステム端での外板の重なり部分の処理）について説明します

プランキング2

スカーフ（外板の繋ぎ合わせ）部分の処理、クレンチ釘での留め方のテクニックについて簡単な実習で説明します。

7/9

アウトウェール・アウトステムを取り付けたあと、船体を起こします。プレストフックを取り付けます。

16

リブを曲げる

リブ（肋材）をスチームで曲げて取り付けます。

参加者には手伝ってもらって一緒に作業することになります。

17

ライザー、シート、インウェールを組み付けます

23

ニス塗りのあとパーティの予定です。

写真（上から下へ）

ミスティーカ・ミュージアム所蔵のボート・ジュニア／エリシア（ラシュトン・モディファイドーワークショップで作る艇と同モデル）／木型とプランキングを終了した船体／セドナ・レイクボート／ラシュトン109のカタログ

お問い合わせは：

滋賀県高島市新旭町饗庭1600-1 新旭水鳥観察センター内

WOODEN BOAT CENTER

電話：0740-25-5803

e-mail : wbc@okubiwako.net